



# 高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

連 合 長 野  
高水地域協議会

○ 発行責任者 小林 君男

○ 編集責任者 岩本 淳一

## 第 85 回北信地区・須高地区メーデーを開催

『働く者の連帯で“ゆとり・豊さ・公正な社会”を実現し、自由で平和な世界をつくろう』を、参加労働者がアピール

高水地協は、北信と須高の地協統合以前より開催している通り、地域の労働団体が参画した実行委員会を設置し、それぞれの地連毎に地区メーデーを開催しました。

### 第 85 回須高地区メーデー

参加者は、おのおの指定された二つの地点（芝宮および市役所）に集合し、午前9時にその場所からデモ行進が出発しました。まず、芝宮（墨坂神社）コースのデモ行進は、ほぼ直線の立町市役所通りで、一方の市役所コースは金井原通りから臥竜公園を左手に見ながらの公園通りを行進し、会場の須坂市文化会館（メセナホール）をめざしました。

それぞれの行進隊が50分ほどで会場へ到着し、ホールの椅子に着席後全員で「晴れた五月」を合唱、午前10時から小林君男実行委員長（地協議長）挨拶でメーデー集会が始まり、参加労組・団体の1分間アピール、メーデー宣言の採択と続き、全員で「がんばろう」を合唱、最後に団結ガンパロウを三唱し集会を閉じ、その後プラカード表彰とお楽しみ抽選会に移行し、成功裏に須高地区メーデーを終了しました。



新緑の通りをデモ行進するメーデー参加者の梯団

開催日：2014年5月1日（木）

集会場：須坂市文化会館（メセナホール）

参加者：18 労組・団体の 900 名

※須高地連構成組織は 13 労組で 650 名の参加

### 須高地区のメーデー宣言



メセナホールで集会を見守る参加者

人公となる社会を築き上げましょう！

私たちは本日、統一を実現して 11 回目となる第 85 回メーデー須高地区大会を開催し、世界中の労働者とともに統一と団結の行動として、生活と権利、平和と民主主義を守り育てるアピールを須高地域にとどろかせました。

私たちの力で、農業や商店の人、未組織の人など全ての働く者に元気をみなぎらせ、須高地域の全ての家庭や職場で笑顔を輝かせていくことを高らかに宣言します。

第 85 回メーデー万歳！

2014 年 5 月 1 日

85 回メーデー須高地区大会



張り子作りで市民アピールする農団労の“真っ赤なリンゴ”

第 85 回メーデーは、私たちの生活と権利を破壊し、民主主義と世論を踏みにじる安倍「暴走政治」にストップをかけるメーデーです。「戦争ができる国」づくりに反対し、憲法がいきる安全・安心な社会の実現をめざす決起の日としなければなりません。また、「消費税大増税・TPP 参加反対」「原発ゼロ」「特定秘密保護法の廃止」などをめざす運動と連帯し政治の流れを変えることを大きく地域によびかけます。

そして、「最賃は全国一律 1 千円以上」「社会保障制度の大改悪反対」とともに、大幅賃上げ・労働法制改悪反対の声を正面に掲げながら、多くの職場・地域からの参加で第 85 回メーデーを成功させ、広く市民にアピールし、真に国民が主



## 第85回北信地区メーデー

北信地区メーデーは、中野市と飯山市において交互開催しており、今年では中野市会場となりました。

本会場ではメーデー集会からスタートするため、参加者は午前9時前に集会場となる中野陣屋前広場へ集合し、開会挨拶のあと全員で「晴れた五月」を合唱しました。そして、山口正巳実行委員長（地協議長代行）の挨拶に続き、スローガンの確認、特別決議とメーデー宣言を採択し、デモ行進に移りました。

午前10時出発のデモ行進は、会場前の中野銀座通りから



デモ行進を終え陣屋前広場に整列した参加者



中野市内をデモ行進するメーデー参加者の梯队

中野警察署前、北信総合病院から駅前・三好町通りを回り、中央区をほぼ一周する形で約1時間後に集会場へ戻り、アクションとして楽農座の和太鼓演奏、お楽しみ抽選会、プラカード・デコカー・行進コンクールの審査発表・表彰式を行い、最後に団結ガンパロウを三唱し、途中で小雨に見舞われたものの、無事に終了することができました。

開催日：2014年5月1日（木）

集会場：中野陣屋前広場

参加者：36 労組・団体の 905 名

※北信地連構成組織は 19 労組で 712 名の参加

### 北信地区のメーデー宣言

本日、私たちは第85回北信地区メーデーを開催した。

東日本大震災と米村地震からすでに3年が経過したが、今もなお多くの被災者が不自由な生活を強いられている。私たちは、被災地の復興・再生を引き続き全力で支えていくとともに、震災を決して風化させないよう、被災地はもとより全国の仲間と連携した取り組みを継続・強化していく。

2014 春季生活闘争では私たちの総力を結集し、月例賃金に徹底してこだわり、非正規労働者、女性、若者をはじめ全ての働く者の処遇改善、暮らしの底上げ、格差是正を求め、先頭に立ってその成果を地域に拡げていく。

私たちは「人への投資」を経営に求める。そして、これに逆行する労働者保護ルールの改悪に反対し働く人に十分に報いる社会を実現する。不安定雇用の増加など、雇用の劣化や職場の荒廃、格差の拡大に歯止めをかけ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に全力を尽くそう。そのために、あらゆる職場で労働組合の社会的意義を積極的にアピールし、一人でも多くの仲間を増やしていく取り組みが必要である。世界各地で自由と平和を脅かす状況が続き、地域紛争やテロ



大型トラックを利用した集会ステージ

も後を絶たない。私たちは、いかなる国に対しても紛争やテロを許さず、憲法第9条を遵守し平和の構築に向けて力を尽くし行動していく。併せて 2015 年4月の核兵器不拡散条約・NPT再検討会議に積極的に関わりながら、核兵器のない世界を実現しよう！

世界では、労働者の人権侵害や労働組合活動家への厳しい弾圧が依然として行われている。2013年の世界の失業者数は、はじめて2億人を突破した。私たちは、国際労働組合総連合（I T U C）や諸外国の労働組合と連帯し、全ての人のディーセント・ワーク実現のために、格差を是正し、自由と世界の恒久平和、貧困の撲滅をめざしていく。

北信地区メーデーでは、これら重要課題に対して全ての働く仲間が結集し力を合わせ、心をつなげて「STOP THE 格差社会！ 暮らしの底上げ実現」をめざす。そして、志を同じくする全ての仲間との連携と連帯で、「働くことを軸とする安心社会」「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を実現することを、今ここに宣言する。

2014年5月1日

第85回北信地区メーデー



和太鼓を演奏する地元愛好クラブの皆さん